

Windows/Mac/iOS 新OS対応状況一覧表

2019年11月12日 現在

Ver.1903 : Windows 10 May 2019 Update
 Ver.1809 : Windows 10 October 2018 Update
 Ver.1803 : Windows 10 April 2018 Update
 Ver.1709 : Windows 10 Fall Creators Update
 Ver.1703 : Windows 10 Creators Update

製品名	現行バージョン	～			対応予定バージョン	対応時間・備考
		Ver.1803 対応状況	Ver.1809 対応状況	Ver.1903 対応状況		
QND Standard	Ver.10.4i	○	○	△	未定	[制限事項] ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません [注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted)の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります。 「ランチャ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。 ※インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます。
	SPM Ver.3.9i	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
	QPM Ver.1.2i SP9	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
QND Advance	Ver.10.4i	○	○	△	未定	[制限事項] ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません [注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted)の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります。 「ランチャ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。 ※インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます。
	SPM Ver.3.9i	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
	QPM Ver.1.2i SP9	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
	License Guard Ver.5.1	○	○	○		
	URL Filtering Ver.5.0	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません
	QND ClientLog Ver.2.6.9i	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
QND ClientLog	Ver.2.6.9i	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
ISM CloudOne	Ver.6.6.2i	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted)の設定が廃止されたため、Windows 10 Update設定利用時に次の注意事項があります。 「更新モデルを指定する：SACT」を選択しても、OSの動作に反映されません。 ※インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます。
	外部メディア制御 (オプション) Ver.6.6.2i	○	○	△	未定	[制限事項] ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません
	操作ログ (オプション) Ver.6.6.2i	○	○	○		
	ふるまい検知 (オプション) Ver.3.2	○	○	○		
	ディスク暗号化 (オプション) 81.10.7191	○	○	○*		* 対応状況についてはサービス事業者もしくは販売店までお問い合わせください。
URL Filtering (オプション) Ver.5.0	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません	
KeyServer	Ver.7.6	○	○	○		[注意事項] ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
eX WP	Ver.4.4i SP4	○	○	△		[制限事項] ・RP1モード、またはRP2モードの場合、Windows Sandboxは起動しません
QQR	Ver.1.4	○	○	○		
Quality Gaiho PDF Suite	Ver.5.21	○	○	△		[制限事項] ・Windows 10 1903においてGaiho PDF Suite-インストール時、あるいはGaiho DocからデフォルトのPDFビューアをGaiho Docに変更しても、設定が変更されません。
Quality Gaiho PDF Server	Ver.2	×	×	×	未定	
DKS Plus	Ver.2.4	○	○	×		動作検証中

製品名	現行バージョン	macOS (10.15)		
		対応状況	対応予定バージョン	対応時期・備考
QND Advance/Standard	Ver.10.4i	×	未定	【制限事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・TCP間欠接続機能は利用できません。 ・任意イベントリ収集時、姓・名のデータが逆転する場合があります。 ・インベントリ取得に失敗する場合があります。(QND Ver.10.3i SP3 更新プログラム(201807)適用にて対策可能) ・macOS 10.13.4より、Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)、フォント情報収集プラグイン(BizPackFont)のインベントリを実行した際にクライアントにて各々一度だけ警告ダイアログが表示されます。本警告表示に関しては、Webページ(https://support.apple.com/ja-jp/h208436)を参照ください。 ・Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)または、フォント情報収集プラグイン(BizPackFont)を取得する設定のタスクを実行した際にエージェントが終了しない場合があります。 ・Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)のインベントリ情報が取得できません。 ・macOS Catalinaをリモートコントロールできません。 ・配布した任意のセットアッププログラムが起動しません。 ・QNDクライアントのアンインストール時にインストールフォルダーに一部ファイルが残存します。
QND ClientLog	Ver.2.6.9i	×	未定	【制限事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・下記のツールが起動せず、利用できません - クライアント接続先変更ツール (QCLClientCfg) - 操作ログ即時送信ツール (QCLSendLogTool) - タスクトレイアイコン表示設定ツール (QCLNotifyIconCfg) - クライアント設定表示ツール (QCLConfigShow) - 操作ログ書き出しツール (QCLLogExport) ・画像収録設定(*)でQND ClientLogクライアントを許可していない場合、操作ログアラート発生時のスクリーンショットが壁紙とメニューバーのみの表示になります。また、デスクトップに表示しているアプリケーションの情報は表示されません。 1. 端末上で任意の操作ログアラートを発生させる 2. OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からQND ClientLogクライアントを許可する
ISM CloudOne	Ver.6.6.2i	△	未定	【制限事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ISMクライアントのインストール時に、ファイルへのアクセスを許可する必要があります。 ・Ver.6.6.1以前のISMクライアントをインストールした状態でmacOS 10.14からmacOS 10.15にアップデートすると、ISMクライアントが動作しません。 ・ISMクライアントの通知を許可しない場合、アラート通知やメッセージ通知が表示されません。 ・画像収録設定(*)でISMクライアントを許可していない場合、操作ログアラート発生時のスクリーンショットが壁紙とメニューバーのみの表示になります。また、デスクトップに表示しているアプリケーションの情報は表示されません。 (*)画像収録で許可する手順 1. 端末上で任意の操作ログアラートを発生させる 2. OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からISMクライアントを許可する
KeyServer	Ver.7.6	×	-	

製品名	現行バージョン	iOS 13		
		対応状況	対応予定バージョン	対応時期・備考
ISM CloudOne	Ver.6.6.2i	△	未定	【注意事項】 インハウス版アプリはiOS11.0以降に非対応
				【制限事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルによる端末制御ができません。 ・(*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。なお、iOS12からバージョンアップした場合、割り当てられているプロファイルが変更されるまでは非監視モードでも制御が可能です。変更されると端末の制御ができなくなります。 ・VPP機能が利用できません。 ・「設定アプリ」>「プライバシー」>「位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」にしなければ、位置情報を取得できません。 ※下記の機能は動作可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ・iOSクライアントの初期登録 ・インベントリ収集 ・位置情報取得 ・違反時ポリシーの割当 ・全配布ソフトウェアのアンインストール ・パスコード初期化 ・リモートロック ・リモートワイプ ・ソフトウェア配布 ・禁止ソフトウェア設定 ・アプリケーションポータル ・MDM構成プロファイル削除通知

製品名	現行バージョン	iPadOS 13		
		対応状況	対応予定バージョン	対応時期・備考
ISM CloudOne	Ver.6.6.2i	△	未定	【制限事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルによる端末制御ができません。 ・(*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。 ・VPP機能が利用できません。 ・「設定アプリ」>「プライバシー」>「位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」にしなければ、位置情報を取得できません。 ・個人データ取得同意機能が有効な場合、同意文章が表示されません。 ※下記の機能は動作可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ・iOSクライアントの初期登録 ・インベントリ収集 ・位置情報取得 ・違反時ポリシーの割当 ・全配布ソフトウェアのアンインストール ・パスコード初期化 ・リモートロック ・リモートワイプ ・ソフトウェア配布 ・禁止ソフトウェア設定 ・アプリケーションポータル ・MDM構成プロファイル削除通知

○：対応済み
 △：一部制限ありで動作可能
 ×：動作検証中 または 未対応
 -：非対応

・未定部分は、決定次第お知らせします。
 ・動作検証中のものは、検証完了次第情報更新します。
 ・注意事項は対応しない場合があります。